

日本医学教育学会第36回大会：高知大学医学部（2004年）*1

倉本 秋*2

第36回日本医学教育学会大会は、高知大学の相良祐輔学長を大会長として、2004年7月30日（金）、31日（土）の両日、高知県民ホール（オレンジ、グリーン）、高知共済会館（ともに高知市）で開催された。有料大会参加者数は510名であった。

高知大学医学部が高知医科大学として建学されて以来、28年間を通じて大切にしてきたものは、医師としての態度と問題解決能力である。そして第36回大会は卒後臨床研修必修化が始まるその年に行われた。そこで基調テーマは「医学教育の一貫性：入学選抜から生涯教育まで」に設定した。シンポジウムⅠ（コア・カリキュラム：導入、蹉跎、飛躍、5題）、シンポジウムⅡ（プライマリ・ケア研修と生涯教育、6題）、3つのワークショップ（入学者選抜における態度評価は可能か、Advanced OSCEへの期待と要望、アフガニスタン医学教育国際協力）、そして要望および一般演題206題について講演と発表が行われた。具体的で、実りの約束されたディスカッションが展開された。特別講演にはIllinois大学Bordage教授「Developing Leaders in Medical Education—Role of the Medical Educator」と、Duke大学Petruša教授「The New Duke Curriculum—Innovation and the Future in Medical Education」をお迎えした。

第36回日本医学教育学会大会を今は亡き尾島昭次前会長からお引き受けしたのは、高知医科大学池田久男学長であった。会長は齋藤宣彦先生に、学長は相良祐輔に、そして高知医科大学は旧

高知大学との統合で新生高知大学医学部に（2003年10月）、さらに2004年4月に法人化を受けて国立大学法人高知大学医学部という激しい潮流の中での高知開催となった。ふつつかな実行委員長をお引き受けした倉本も、総合診療部から専任病院長へ移籍していた。また、立候補型でない、「四国での開催はまだないですから…」という調整型、指名型の開催としても最後に等しい大会であろう。

日本医学教育学会の発展のために、2つの感想を記しておきたい。1つは学会の会場に関するクレームで、「日本医学教育学会は、主催する大学が自学の中で、自学の施設を使って開催するもので、大学から出るべきではない」という注文を複数の方からいただいた点である。今、日本医学教育学会の参加者は（台風などの天災がなければ）少なくとも700～800名を想定しておく必要がある。この人数を収容できる施設を持つ大学は限られてくる。大学内で施設が確保できないときには公共施設に出るとしても、華美にならぬようにさえ心がけていれば、収容できる施設を持つ大学に主催校を限定するより得られるものは多い。

いま1つは製薬会社や教育機材のメーカーの協力についてである。実際にはご協力をいただいていたにもかかわらず、受けてこなかったような申し送りがあったり、「企業の展示はあるが、企業展示料はもらってはいけない」ということも教えられた。2つの事柄に共通するのは、村社会的な排他性である。これからの時代、矜持を持ってどれだけ清潔に、しかししっかりとさまざまな職種、企業とコラボレートしていくかを求めることなくしては、日本医学教育学会の発展はないと感じられる。

2004年の夏は、例年になく台風の多い年であった。29日の怪しげな雲の流れは、30日夕、全員懇親会あたりから、さらにおかしくなった。高

*1 The 36th Congress of Japan Society for Medical Education (2004), National University Corporation Kochi University, Kochi Medical School

キーワード：日本医学教育学会、第36回、入学選抜、生涯教育

*2 Shu KURAMOTO 高知大学医学部附属病院病院長

知の台風の風雨は並大抵ではない。50mも歩けば、洋服はズボンどころか、上着までグショグショになってしまう。31日早朝、「2会場である問題」を、急遽ワゴンタクシーをチャーターして解決した。時刻表を3冊購入して掲示板の下に置き、掲示板には刻々と入る台風情報を更新し続けた。航空機、JR、高速バスなどの（四国脱出の）可能性を探り、翌日の予約を取り、宿泊などのキ

ャンセル、予約とコンシェルジュに徹する2日目であった。

参加いただいた方からは、「記憶に残る大会になりましたね」のねぎらいの言葉をいただいた。しかし高知もこれほどひどい天候の時ばかりではない。よい気候の時期を選んで、大会に限らず、教育を語り合える機会が得られることを祈っている。